

第3回 西部緑地公園再整備「新産業展示館」整備検討部会 議事録

日時： 令和5年4月21日（金）10時30分～12時00分

場所： 石川県行政庁舎11階 1109会議室

出席者： 検討委員8名（佐々木委員、長井委員の2名欠席）、内田商工労働部長、成瀬商工労働部次長、西村産業振興戦略監、山出経営支援課長

1. 開 会

2. 議 事

(1) 「新産業展示館」構想骨子案の説明（事務局から会議資料に基づいて説明）

(2) 意見交換（以下のとおり）

【西村委員長】

ご意見をいただく前に何かこの段階でまず質問があれば承って、一段落したらご意見をと考えています。今の段階で確認しておくことはありますでしょうか。

まず、私の方から確認ですけど、どのくらいの規模にするという具体的な数字が出てないわけなんですけれども、これは、このあと民間の方とやり取りをする中でどれくらいだったらという可能性もあるかということもあるので、あまりこの段階で決めていないと、そういう感じの理解でよろしいのでしょうか。

【内田商工労働部長】

ご指摘の通りですけれども、まず、いわゆる展示面積の部分は、もともとの産業展示館の根幹の機能ということですが、これは、現時点で1号館から3号館の面積を足しても、全体として4号館を含めても大きなイベントの時に不足をしているということですので、今よりは大きくするということの方向性だけはここに書かせていただいております。あとは、どのくらい大きくするのかという話は、いろいろなマーケットサウンディングという手続きの中とかでご提案をいただきながら、検討をより深めたいと思っております。ただ、今よりも大きくないと足りないという趣旨のところまではご確認をさせていただきたい。

それから、いわゆる賑わい・交流空間といいますか、いわゆる展示スペース以外のところというのが、近年整備しているところと比べても、現状小さくてトイレとか必要最小限のものしかなくて、今時いろんなことをやる時に面積的にまず足りないということがありまして、最低でも展示面積と同等以上は確保したい、近年はほとんど確保しています、倍以上のところもあります、これについても、いろいろなご提案の中で、こんな機能があったり、あんな機能があったりということも委員の皆様からのご提案、それから民間マーケットサウンディングの中でのご提案なんかも踏まえると、その機能を見極めることによって、規模にも影響してくるのではないかと思いますので、現時点では、あまりフィックスせず、幅広のご提案、ご意見を踏まえて最終的に考えていきたいということでございます。

【西村委員長】

ということは、年内に取りまとめるときには、そこまで含めてある程度の数字が出るということでしょうか。それとも、これくらいのものが最終のものになるということでしょうか。

【内田商工労働部長】

年内のときには、次のステップに行くときには、もう少し数字的なものも固めていく必要があるとは考えております。

【西村委員長】

ここでは、まず方向性ということと、特に賑わいをどういうふうに考えていくかというあたりは、ご意見をいただければありがたいということでございます。何かよろしいですか。

【中村委員】

いろいろ問題はたくさんあると思うんですけども、完成目途というものを作っておかないと、大まかなスケジュールができませんし、やっぱり物事には納期がありますので、そういう面からすると、一体いつ頃になるんだろう、例えば、我々からしますと、使う側からみると、4年後に完成とかいうと、少なくともその間は、今の老朽化したところを使わないといけない、できるだけそれを短くしたいわけです。そういう面でがんばってやりとげるといって、そういうひとつの目標値がないと、こういう会議が続いていっても、結局我々としては一番大事な、どこまで続けてよいのかと。その辺で、ひとつ覚悟を決めて、この辺で何としてでもやりとげたいという思いをね。その他の問題が出てくることは、それぞれで対処しなければならぬんですけども、少なくともいつ完成を目標にするかということに従ってスケジュールが出てくると思うんで、その辺、ちょっとお願いをしたいということでもあります。

【西村委員長】

この辺いかがでしょうか。ユーザー側にとっては非常に重要なことですよ。いつまでに何を考えるという。

【内田商工労働部長】

ごもっともなご質問かと思えます。ただ今回、産業展示館を立派なものに建て替えたいという、産業展示館を直接の所管としている商工労働部としても、一刻も早く機能を充実したものを建てたいという思いは、委員ご指摘のとおり持っております。

と同時に、野球場も建て替えをしていくということ、それから、2つの施設を建て替えるにあたって、いろいろな駐車場の関連とかも含めて、再配置的なものを当然考えていく必要があるということでありまして、公園全体の中でどの場所に我々のこの産業展示館を置くのか、あるいは野球場をどの場所に置くのかという話と、再配置した上で公園の賑わい機能をやっぱりせつかく作り変えるわけですから、大幅に充実したいと、人にもっとも利用していただく公園にしたいということで、親会、我々の部会と野球場の部会の上に親会ということで、公園全体を見る会議を作っています。ここでスケジュール感をまとめていただくことになっておりまして、本日この場ではちょっとなかなか申し上げにくいのですが、その親会の方も、少しでも早くというような思いで、少し今後の検討のスキームを若干修正したりして、もともと年度末までに全部まとめると言っていたんですけども、年末までということ少し早めた形を考えている、そのスケジュール感を年末までにとりまとめたら次のステップに入る、前は年度末だったのを早めているんですけども、その次のステップに入ったところで、建設本体のスケジュール感が出てくるのかなと思っているんですけども、少しでも早くということで、このソフト面の検討の部分、前段階の検討も縮めてやっているところで、本日のところはご理解いただきたいと思っております。

ぜひ早くしたいと思っております。

【中村委員】

県民にとっては、野球場と産業展示館と同等扱いというのは、いかがなものかという感じを持っております。我々が生きるために必要な石川県における大事な産業展示館でありますので、それと同じ形での野球場はちょっと違和感があります。やはり、いろいろな政治的問題はあるのかもしれませんが、少なくとも産業展示館というのは、大切な石川県の産業にとっても重要な観点ですから、その辺をよくお考えいただきたいというふうに思っております。

【内田商工労働部長】

もちろんそういう思いではあります。本当に利用者も産業機能以外のイベントにも非常にたくさん使われている施設でございますので、県民の皆様喜んでいただくということで、せっかく建て替えるんですから、早くという思いは肝に銘じてやっていきたいと思っております。

【西村委員長】

土地利用全体としてやり替えるとすると、全体の合意ができないとその先に進めないということもあるので、それがほぼ年内に済むということで、そこで全体の大まかな内容が決まったらスケジュールも見えてくると、そんな感じの理解でよろしいでしょうか。

【内田商工労働部長】

概ねそのようになるものと考えております。土地利用の内容がみえたら、どんな順番で、どんなスケジュールでやっていくというのを決めないといけないんですけれども、そんな中で最短のというくらいの気持ちで関係者との調整を進めたいと思っております。

【西村委員長】

それでは、少し全体に関するご意見を、すみませんが水野先生から順番にご発言いただきたいということで、また、どこかの段階で今日欠席の委員のコメントもご紹介いただけるということなので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、事務局からお願いされているのは、11ページの賑わい・交流機能に関しては、有意義なコメントをいただけるとありがたいということなので、それも踏まえてお願ひします。

【水野委員】

それでは、少しご意見を述べたいと思ひます。まず、アリーナですが、この産展の地域から外したというのは、私は賛成でございます。良いんじゃないかと思ひます。というのは、ひとつは1万人をどこのアリーナも想定して、しかもほとんどの賑やかなイベントは夜に行われるんですね。そうすると1万人の出入りの輸送は、この産展の地域だと非常に大変だろうと思ひます。大体のアリーナは、そういう意味で言うと、駅に近い場所に立地をしております。そういう意味も含めて不可能だろうと思ひていましたので、これで良いんじゃないかと思ひています。

今ちょっとアプローチの話をしたんですが、先ほどの中村委員と同じになるんですけども、スポーツゾーンと一体化して考えられてたと思いますので、ぜひアプローチについては、解決策が出されているわけではないので、少し心配もしております。

それから、ホールにつきましては、建築の分野につきましては、9ページに展示ホールAと展示ホールBというのと、それからちょっと茶色っぽく共用・交流スペースという3つがスペースとして考えられている絵が出てきているんですが、この展示ホールA、Bの中身が全然分からないので、どうなっているのかなというふうに思っております。というのは、今までの1号館、2号館、3号館のように、体育館のような大空間のワンルームという形なのかどうかということと、今日ちょっとここに手元にあった資料で、藤委員から出てました「たま未来メッセ」を見ると、非常に多様な空間を抱えております。単に展示ホールA、Bという形ではなくて、外部空間から内部の会議室から小図書館から、いろいろできていて、いろいろな交流のゾーンもできております。それによると、一つの建物の中に複合的にいろいろなものを整備する、方針がだいぶ違いますね、今までの産業展示館とは。これは、私は非常に良い参考になるんじゃないかと思っております。例えば展示ホールは一つの大空間、展示ホールBは「たま未来メッセ」のようにいろいろな多空間が入っている。その方が多分利用しやすいのと、この中で小イベントはお断りしている報告もありましたので、お断りしているイベント対応に非常に良い空間ができるんじゃないかと思っております。

それから、先ほど西村委員長の方から出ました交流スペースについてですが、やはりこれもスポーツゾーンの方が交流スペースを作りやすい、全ての人たちにかかってくるので、日常的に遊びに行こうとか、探索に行こうとか暇だからちょっと行ってみようとか、人間の健康とかスポーツとかそれに対して強いので、それを主体としながら、産展の方としてどのように付け加えられるかということで、そういう共有のゾーンがあるのではないかと思います。そうすると、産展の中に入ってくるというよりも、このスポーツと一緒にあった全体像の中で共用・交流ゾーンがあるんじゃないかと思えます。

産展側の交流ゾーンの一つの例としては、コマツがやっている建設機械を並べていくのと、サイエンスヒルズ、小松市がやっている展示、あるいは講義室、教室、様々なイベントをやっておりますけれども、そういう組み合わせが産業展示館の要素としてあるのではないかと思います。ですから、共用・交流スペースというのは、この中にあるとすると、展示室Bの中で講義室があるとか、これからは情報化時代ですので、検索できる情報図書室みたいなそういう機能は産業展示館の方にあってもよいかと思えます。

いずれにしろ、この「たま未来メッセ」の1ページ目の表紙の下の写真は、両側にいろいろな部屋が用意されていますけれども、片側でも良いんじゃないかと思うんですよね、部屋の数によっては。上ももっとオープンにして、下ももっとオープンにして、展示場にもなるという仕掛けがいっぱいできるんじゃないかというふうに思っています。今後、建築のレベルに下げて、最終的にこんなのどうだというふうに終わりたいなと思えます。このような展示場A、Bだと、何も無い体育館があるだけだ、というものではこれからはないだろうと思えます。以上です。

【西村委員長】

ありがとうございます。共用・交流スペースに関しては、割合スポーツ施設の側が主流なので、そことの関係の中で考えないといけないという点と、展示ホールA・Bは、これではポンチ絵みたいになっていますが、中は仕切ることができたりとか、先ほどの「たま未来メッセ」みたいなことも当然想定されてらっしゃるんですよね。

【内田商工労働部長】

今のところ概要を決めているわけじゃありませんが、小規模利用が可能なような間仕切りをたくさん入れるということは当然考えていくべきだと思っておりますし、そういったことを一部記載してあると思います。あとは、天井高についてはいろいろ考え方があろうかと思えます。共用・交流のところで、いわゆる会議室的なものが展示のフロア以外にも大小必要じゃないかということもここに書かせていただいている、会議室的なもの数なり規模なり大中小というそんなところと、いわゆるホール空間、産業展示機能メインのところとどのように使い分けるかというようなことも考えていかなきゃいけないなと思っております。いずれにしても、中小規模とか多様なイベントにこの館全体としてはぜひ応えたいというふうには思っております。

【水野委員】

あと11ページの右下に富山県美術館の屋上緑化が出ていますけれども、ここは本当に緑の多いところなので、必要ないんじゃないかと思えます。こういうことにお金をかけるよりもっとかけるところが一杯ある感じがします。その左にあるスポーツのものとかこういうものは必要だろうなあと思えます。それから、県民の作品展示、これは必要なあと思えます。要するに県民がいろいろなものを用意する時代になってきていますので、ある程度ここはこの特長である、ここはこのことで有力であるというもので揃うべきだと思えます。

【西村委員長】

それでは続きまして、中村委員お願いします。

【中村委員】

私は先ほども申し上げましたが、何せ早く建て替えていただきたいということです。あとは気になっているのは、石川県の中で学会とか開いても良い会議室がなかなかなくて、ホテル利用は高すぎて、よその県に流れているという点がありますので、ぜひとも今回の産展の中には会議室も入れていただきたいということです。あとは一日も早くできることが一番の願いです。

【西村委員長】

それでは、普赤委員お願いします。

【普赤委員】

骨子案を見せていただきまして、論点整理をされているのかなと思えます。今回、アリーナ機能を取るということが出ていますが、ここについては良いというふうに思います。

あと、これちょっと感想になるのかもしれないので恐縮ですけど、産展と野球場と緑地という3つの大きな要素をどううまく融合させるかみたいなのは、親会の方の課題になるかと思えますけれど、それぞれの特色をうまく融合させて、それを県民の交流の場という位置付けにもする、そういう趣旨でしょうから、非常に大切だと思いますけれども、これはとても難しい課題ではないかと思えます。それぞれ独立して考えるのではなくて、それをうまく融合させるということなので、一つの施設で完結するものではないというふうに思います。西部緑地公園は、整備してから相当時間が経ちましたけど、緑地として位置づけというものも重要だと思います。石川県、金沢にとって、緑の空間というのは大変豊富な地域ではありますけど、西側と申しますか南側と申しますか、

そういう地域でのまとまった緑地ということも大切にしなければならないというふう思います。緑地自体も大切に守りながら、育てながら、そういう中で、産展、野球場、緑地が一体となるような形で整備していただければと思います。

産業展示館については、まさにスペースの問題と機能の問題ということでしょうから、その整理というのはされてきているのかなと思います。ただ、水野委員もおっしゃっていたように9ページの絵を見ると、4号館と展示ホールA・Bがあって、駐車場があって、それで野球場があるということになると、人の動線をどうするのか、これまた難しい問題になると思います。真ん中には川が流れていますし、川の部分をどう一体化させるかということも難しいと思いながら、いずれにせよ、非常に整理されている内容だというふうに思っております。

【西村委員長】

ありがとうございます。ここだけでは、3つの施設の関係性みたいなものは議論できないですが、ぜひそこら辺り、よろしくお願ひしたいと思います。また、9ページは、機能としてはこうですけど、具体的な空間としては色々工夫があるので、これをパブリックコメントにこのまま出して、これが建物のゾーニングだと思われると違うので、その辺の情報のうまい、誤らないような提起の仕方を工夫する必要があると思います。

それでは、尾崎委員お願いします。

【尾崎委員】

今ほど普赤委員の方からもお話ありました、大変難しい整備だと思います。野球場、展示館、公園という大きな要素がありまして、一体的にどううまく活用していくというのは大変難しい話だと思います。11ページのいわゆる共用・交流スペースの部分ですけど、石川県の産業展示館は、催事のあるときだけ、土日だけに賑わいがあるような感じがしております。これから野球場と一体的に整備される中で、平日でも普段の日でも賑わいや、人が集まるような、そういうことを考えますと、11ページの共有・交流スペースの機能をどうやって作っていくかということは大変難しい、それからここに力を入れていかないといけないということも大変大事だと思います。パブコメもありますが、民間事業者の知恵も借りて、色々アイデアが出てくると思いますので、産業展示館という本来の機能はもちろんですけども、この辺の交流スペースもしっかり活用できるような知恵をぜひ出していただきたいと思っています。

それから4ページ、先ほどから動線の話がありますが、石川県は雨の多い、雪の多い地域なので、ぜひ駐車場から産業展示館本体の建物までの動線を何とかうまく作っていただかないと、非常にお年寄りの方も利用できるような、雨のかからないような、中央病院もそうですが、駐車場から屋根が少し回廊のような形で病院の方までつながっていますので、全体の中で難しい動線の作り方だと思いますが、ぜひそういったことも配慮していただいて、せっかく大きな予算をかけて作られるわけですので、多くの方が利用できるような施設になるよう、ぜひ知恵を出していただきたいと思います。

【西村委員長】

ありがとうございます。平日の賑わいの工夫を民間から知恵出ししてもらおうようにすることと、駐車場からのスムーズな連結みたいなことを意識してほしいということでした。よろしくお願ひいたします。

それでは、安江委員お願いします。

【安江委員】

資料拝見いたしました。ありがとうございます。今は構想・骨子案ということで、主な柱を固めていくというところだと思います。気になった点を申し上げますと、7ページのところで新たな時代への対応と書いてあるんですけども、ぜひ『ユニバーサルデザイン』について入れていただきたいと思っております。これは骨子や構想の段階で入れていかないと、後付けになって帳尻が合わないことが多々あるという事例が見られています。もちろん動線や段差の話は搬入搬出の面からもお互いにメリットあると思っておりますけれども、直感的に分かりやすい空間構成というのがとても大事でして、お子さんとか高齢者の方にとっても、今どこにいるかわからない、エレベータがどこにあるかわからないというのは、非常に混乱を招くので、最初の施設の設計のコンセプトとして『ユニバーサルデザイン』というものをに入れていただきたいと思っています。

食に関してなんですけれども、主に産業の振興・発展のための展示場ということで、今後、食の展示も増えていくと思うんですね。また、商談会＋レセプションみたいな用途が増えてきたときに、ここで一定程度のフードの提供ということも考えていくと、来場者だけではなく、食自体を魅せていくという点で、そういったバックヤードやキッチン設備も必要になってくると感じました。

規模感からいきますと、2つに分かれていますけれども、大体、現在の1～3号館を足した、それ以上の展示空間ということで見てみますと、Gメッセ（群馬）に近いのかなという規模感で考えています。全体で1万㎡ですけど、5千㎡、5千㎡ぐらいで、それと同等以上の共用スペースを確保するようなイメージで考えておりますけれども、何分割できるかといったところ、機能面に関してはサウンディングで細かく詰めていかれたら良いと思います。産業というのは、今後、クリエイティブ産業も対象になっていくような時代になっていると思いますので、5年後10年後の先取りをしたような、そういった用途も想定していかれたら良いかなと思っています。

今ほども皆さんがおっしゃっていたように、公園というベースがあって、スポーツ施設のゾーンがあり、産展のゾーンがあり、機能としての駐車場というものがありますが、やはりベースとなる公園としての新しい造園というかグリーンというものがすごく大事ななと思っております。実際建てるときに、どこに交流ゾーンをおきますかという、風の影響とか西日とかも考慮しつつ、どのようにランドスケープを作っていくかということや、建物の延長として緑地があるようなデザインというのはとても大事になってくる場所だと思っています。これが居心地が良いとか、人が何となく集まってくるとか、そういったことにもすごく影響してくるので、実際に施設の配置のときに、自然環境の取り込みとグリーンの考え方っていうのも、コンセプトとして強く立てていくのも良いかなと思っています。

芝生は、すごく利用勝手が良いのですが、保育園の遠足って意外と県外に行っちゃうんです。石川県内の保育園でバスを仕立てて遠足へ行くときに、なかなか適切な候補がないのですが、西部地区の中で、ここがコミュニティの拠り所、拠点になるような位置付けであれば、小さいお子さんの利用の形態とか、あるいは、スポーツ施設のウォーミングアップの場所として使えるとか、休憩機能として使えるとか、そういった芝生の活用みたいなところも重要になってくると感じました。私が気づいた点は以上です。

【西村委員長】

ありがとうございました。ユニバーサルデザインからランドスケープのことまで、たくさんご意見をいただきました。

【内田商工労働部長】

おっしゃるとおり、特に『ユニバーサルデザイン』のことについては、意識はしていたつもりですが、しっかりコンセプト的には大事なことだと思っていますので、ぜひとも前提で進めていきたいと思います。

【西村委員長】

ありがとうございます。それでは、成田委員をお願いします。

【成田委員】

私も気づいた点は、前回は申し上げましたが、人が集まるということに関して、食ということが非常に大事なキーワードになると思っています。食のイベントなども結構多いと思いますので、食のイベントがしやすい会場というのがなかなかなくて、そういうところは充実していただけたら良いなと思っています。バックヤードにしっかりと水場があるとか、冷蔵庫があるとか、そういう設備ですとか、県立図書館では、デモキッチンがあって、シェフがしているものをモニターで見ることができたりだとか、魅せるというようなデモンストレーションができるような場所があると思いますが、そういったものを会議室の一室にでも組み入れられると良いなというふうに思っています。

賑わいというところと言うと、ちょっと違うかもしれませんが、日本ハムの新球場（エスコンフィールド）とかがすごい参考になると思っていて、すごい力を入れているのが食で、いろんな食が楽しめる、地元の人がそこに別に野球を見に行かなくても食を楽しみに行くみたいな、そういう感じでいろんなものがあるみたいですが、ここに食堂を作るとするのは難しいかもしれませんが、いろんな人が食に関するものにチャレンジできるような、レンタルスペースとか、キッチンカーみたいなものがあると思いますが、それも地元の人が行きたくなるという点でいうと、地元の人々のキッチンカーだけではなくて、県外からも人気の店とかが頻繁に来るイベントが常時できるような、そういう取り組みとかが、地元の人々が日常的に集う場所という意味では良いのかなと思っています。

緑化というか公園の部分ですけれども、なかなか公園ってなると、小さいお子さんがいたりすると行くかもしれませんが、そういう利用は促進していけたら良いと思いますが、日常的に県民の人が足を運びたくなるっていうと、例えば、人が絶対足を運びたくなるような、お花見みたいな。桜の季節って絶対人が集まると思いますけれども、伏見川沿いは桜がきれいですし、今の産展のところにも桜の木があると思いますが、何かひとつ、観光客は兼六園にお花見に行くのかもしれませんが、地元の県民だったら駐車場も完備されている、そういう花見の見どころみたいな、桜の木をうまいこと植えたりとか。あとは紅葉シーズンに紅葉が楽しめるようなスポットになるような工夫があったり、そういうところを遊歩道というか、ランニングスペースも交えたような。ちょうど近くにスポーツセンターもあるので。スポーツセンターは体育館の中をぐるぐる回るコースがあるんですが、外を走りたい人もいっぱいいると思うので、ランニングコースみたいなものがあるって、スポーツセンターで着替えたり、もしくは、ランニングやマラソンするような人の着替えスポットとかトイレみたいなものとかが整備されたりとか、日常的に人が利用するような、生活の中のさらにシーンで使えそうなものがあると良い気がしました。ペット連れの方のドッグランも公園と相性が良いと思いました。

産業展示館の中もそうですが、外でもイベントをやったりすることができるのであれば、トイレの充実とか、授乳室など多目的に使える部屋があると、災害時などにも着替えとかで役に立つような場所にもなると思うので、そういうのもあると良いのではないかと思います。

【西村委員長】

ありがとうございます。食のイベントから日ハムの新球場のお話、それから様々な公園利用と交流スペースの接点みたいなものも考えながら、というお話をいただきました。それでは、藤委員お願いいたします。

【藤委員】

日本コンベンション協会の藤です。よろしくお願ひいたします。今、皆様のご発言を聞いておまして、ハード先行では議論がしづらひと思ひておまして、具体的には、今まさに成田委員と安江委員がおっしゃったように、具体的にどういふシーンを想定したいのか、ということとセットであるべきだと思ひたところでございます。そういう意味では、ユニバーサルデザインのことも非常に重要な視点だと思ひますし、女性視点での授乳室だったりとか、多目的のお部屋というのは、意外と現場が始まるとものすごく重要だったりする、そういう視点だと思ひています。

私からは、交流の機能についてと、施設のディテールについて、この2つについて申し上げようと思ひますが、まず交流の機能については、資料の方を用意して、これは参考事例としてお話ししたいと思ひておます。東京の「たま未来メッセ」といふ会場が、たまたま新しく昨年の秋にできたばかりで、いくつか催事が進んでいますが、特に新設の会場なので、地域の方にどうやって知っていただくか、みたいなところが、この半年1年ぐらひの非常に大きなミッションだったといふことがあって、ちょうど議論に良いかなと思ひたところでは。

資料をめくっていただきまして、会場の図面ですが、ここはA・B・C・Dのホールを合わせても2千4百㎡しかないで、非常にコンパクトなお部屋づくりになっています。各仕切りができて6百㎡といふような、そういう設えになっているところでは。めくっていただいて、写真がありますが、椅子の上は屋根になっていて、名称は「屋根下広場」といふ名称になっていますけど、重要なことは四角の建物が建っているわけではなくて、展示ホールにできる部分を一部切り取って屋外を作り出しているといふことになっています。したがって、施設の前を通る方が、入りやすい設計になっているところがポイントになっています。さらに、右側の写真では、右側の方がガラスになっていると思ひますが、完全に展示ホールの中が見えるようになっていて、しかも開放することができるつくりになっていますので、今回でいへば、公園に散歩に来た方が、中が見えて、興味があれば入れるような仕掛けが、ひとつ考え方としてできるのではないかなと思ひます。左の写真は、細かいディテールのことで申し訳ないのですが、階段みたいなものがあると思ひますが、お昼時になると、地域のオフィスの方がランチを食べたりする、そういう機能があったりすると、人が寄りやすい仕掛けになる。余談ですが、ちょうど今の時期は新入社員の入社式があって、たまたまですけど、この階段でひな壇になっているので写真を撮ったりする、そんなこともあります。2枚目の写真については、建物の端にある屋内のスペースですけど、道に出っ張るような形で交流サロンといふ名称になっていて、子ども向けにもものづくりの体験教室を高専と一緒にやった事例ですけど、子どもたちがここでものづくりの体験をやっているのを外からも見て取れる、そういう機能もひとつの考え方としてあるのかなと思ひますので、話戻りまして、交流の機能については、どういふ催事を具体的に想定するのか、これからパブコメ等でヒアリングされる予定だと思ひますが、もう少し具体的な案件に当てていくことで、施設のディテールも決まっていくのかなといふふうにおもひるところでございます。

【西村委員長】

ありがとうございます。施設の使い方のイメージやシーンを設定すると、イメージが膨らむといふことでした。あと、今日欠席のお二人からコメントをいただいているので、それを紹介していただいて、その後、事務局

の方で、何かここまでで答えることがあれば、お願いします。

【山出経営支援課長】

それでは、本日欠席されてます、お二人の委員の方からコメントを預かっておりますので、まず、紹介をさせていただきます。まず、佐々木委員からのコメントです。

展示場としては、シンプルなもの良いと思っております。展示会に関わってきた者として、展示会に特化した場合、大きすぎる展示場を作ると、需要があるのかどうかということを少し不安視していました。会議室など、展示場以外のコンテンツも重視し、公園内のコンテンツの一つとして賑わい・交流について議論されると聞いて、現実的な方向性かというふうに感じております。

建物そのものはもちろんのこと、金沢駅から公園や展示場への交通アクセス対策のことについても、しっかり検討して構想に盛り込んでほしい、以上、佐々木委員のコメントです。

続きまして、長井委員からのコメントです。まず、新産業展示館整備についてですけれども、留意すべきポイントは「自由度」と「拡張性」、この2点だというふうに考えております。今回、建て替えを行って、新しい施設になったとしても、いずれは必ず老朽化していきます。ですので、完璧な施設を現時点で作ろうとせず、未来志向で時代のトレンド、息づかいとともに成長しビルドアップしていくイメージを持つことが重要ではないかというふうに考えております。AI、情報通信等のデジタル技術の急激な進化は、最新鋭技術を前提した施設では、すぐに陳腐化するリスクがあります。それを回避するためには、施設整備を考える補助線として「自由度」また「拡張性」＝「ユーティリティを確保」するということが非常に重要になっております。例えば、今後、新しい技術に基づく施設整備への要請に対しても、柔軟に対応できる余地を常に確保することをベースにして考えていくのが良いのではないかと考えております。

また、議論の中心になっていきます「賑わい」についてですけれども、賑わいとは何か、議論の上、認識合わせが必要なのではないのでしょうか。少なくとも無目的に人をたくさん集めることではないので、目的設定が非常に重要になってくるのではないかと考えております。

言うまでもなく、西部緑地公園は県民の憩いの場であり、新産業展示館は情報基地、また交流拠点であるというふうに認識しております。この2つの目的に基づき求められる機能を整理し、それぞれの目的を充足するために園内導線、駐車場も含めてですけれども、混乱のないように空間配置設計し、西部緑地公園全体の調和を図ることが必要であると思っております。

また、新産業展示館の稼働率を現在の40%以上を目指すのであれば、大・中・小スペースがそれぞれ独立して、かつ同時に利用できるレイアウトが、設計上、必要になってくるのではないかと考えております。例えば、石川県産業の常設展示スペース、JETRO等との国内外との産業連携を促進するための団体等のオフィス、大学・研究機関との提携ラボ等を誘致し、そこに集積することも一つの案であるのではないかと考えております。また、新産業創出のためのインキュベーション・ハブ拠点、ベンチャーのためのシェアオフィス棟、こういったものを設けるというのも、一つの案だと思っております。

その上で、会議室や共用スペースを県内の企業に、いわゆるリスキリング、学びなおしの場として活用してもらい、稼働率を高めていく、というのも一つの提案として言えるのではないかと考えております。

長井委員からは以上です。

【内田商工労働部長】

各委員から本当に色々ご意見、ご質問いただき、ありがとうございます。例えば、緑地の話、食の話、複数の委員から出たかと思えます。まさに、緑地ということは、あのエリアの特徴だと思えます。単に産業展示館が建っているエリアではありませんので、もともと西部緑地公園の中に建つということでもありますので、私共としても、ハードとしての箱の中身を議論していくわけですけれども、公園の中でいかに周りの気持ち良い空間を作っていたかしながら、そこの出入りをしやすい、一体化して利用するようなことをしっかり考えたいと思います。そのことが、公園そのものの利用価値も上がりますし、建物の利用価値も上がっていくということで、公園の中にあるということをしかり活かしたいと思っています。親会の方にもぜひ議論いただけるような形で伝えたいと思っています。

食については、前回にもご意見いただいていますし、食のイベントは人気がありますので、従来の産展でなかなかできなかったような部分も、しっかり検討していきたい、バックヤードや水回りが特に大きなところだと思いますが、そういったところも含めて、今日のご意見も踏まえて、今後検討を進めたいと思います。

その他、雨の対策もそうですし、学会の大きなものがなかなか従来良い場所がなかった、という中村委員のご指摘もありましたが、せつかく建て替えるにあたって、お金の限りはありますけど、機能として使い勝手の良い、皆さんに使っていただけるような形で、今日いただいた意見も踏まえながら、検討を前に進めたいと思っています。

【西村委員長】

私からも一言。ここの産業展示館が、他の施設とはっきり違うのは公園の中にあるということですね。それはある種、公園を潰してしまっているのかもしれないけど、逆に言うと、特色があるので、いかに両方が一緒になったときに、両方のプラスでシナジー効果が出るのかということが、ここの個性であると思いますので、ぜひそこを考えていただきたい。それが施設のありがたみにもつながってくると思います。

これからいろんな形で計画されて外に発表されるときに、西部緑地公園全体の価値につながってくる、この場所全体の大きな個性になると思いますので、ぜひそのことをうまく活用していただければと思います。よろしくお願いします。

【水野委員】

それで一つだけ。先ほど、9ページのところで展示ホールA・Bの話をしましたけど、このレベルで最後まで行ってしまうと、何を骨子案なのかという感じがします。先ほどからいろいろ出てるように、大空間のようなワンルームだけではなくて、いろんな部屋がほしいということをはっきりしていますので、それをどこに、どうつくるか、それをどんな空間にするか、あるいはフレキシビリティ、間仕切りを入れるのか/入れないのか、それをどういうふうな仕掛けで対応できるのか、その建築の案が出ないと、私は骨子案にならないのではないかと思います。

今、西村委員長おっしゃった、公園の中の産展という意味と、産業展示館の中身が時代とともに変わってきて、多様性が要求されている中、その応答がされていないと思いますので、その点はやっていただきたいと思います。

【西村委員長】

ぜひ9ページの絵を改善していただいて、この絵が外に出ると、2つのホールをもった大きなハコができるのか、分割もできないのか、みたいな質問も出そうなので、工夫していただきたいと思っています。

【内田商工労働部長】

ご指摘を踏まえまして、新たな展示館というものになると、いろんな空間が必要だというご趣旨で、今のままだと誤解を招くというようなことで、そういう趣旨が分かるように工夫したいと思います。

【西村委員長】

よろしいでしょうか。中村委員。

【中村委員】

新産業展示館の件について、一つは新しくつくるということと、もう一つの課題が駐車場問題です。

駐車場問題を（解決に向けて）進めて行くと、基本的には、建物の建築が遅れてしまう、場所がない、公園にありますから、これ以上（駐車場を）広げようと思ったら緑地を潰すしかない、もしくは新しく土地を買うしかない、限られた範囲の中でしか土地がないんです。したがって、私どもは敢えて建設優先をお願いしているのは、そこを全部考えていくと、とてもじゃないができない。限定された中で苦労されていると思いますが、土地を買ったりしない限りは、これ以上新しいものを、また、良くしようというのなかなか難しいんです。新しい建物を建てるだけでも土地が十分がないという現状の中で、どうやっていくのか、大変大きな問題があるなと思います。この辺をご検討して進めていかないといけないと思います。

【西村委員長】

優先順位を明確にして、この産業展示館の優先順位を上げて行ってほしい、というご趣旨でした。

【内田商工労働部長】

もちろん産業展示館としての重要性、重々理解をしております。あと、ご指摘いただいた駐車場問題、これは第1回の会議以降、ずっとご指摘をいただいているかと思えます。今、親会の方が中心に考えていただいているのですが、我々もいろいろ情報交換をしております。いろんなやり方が考えられるということではありますが、いずれにせよ、結論を早く出して、利便性の高い駐車場にしていけないといけないことは間違いありませんので、そういった面も含めて、スピード感をもって対応していきたいと思えます。

【西村委員長】

よろしく願います。他よろしいでしょうか。それでは、全体としての議論は、今日はここまでということにして、この後の進行を事務局にお返ししたいと思います。

【山出経営支援課長】

西村委員長、長時間にわたりましてありがとうございます。以上をもちまして、第3回西部緑地公園再整備「新産業展示館」整備検討部会を終了させていただきます。本日いただいたご意見を踏まえまして、次回、構想の最終取りまとめに向けてですけれども、準備をしっかりと進めてまいりたいと思えます。本日は年度初めの大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。